


1 「切」に切り換える




ラジオを聞きながら携帯電話やスマートフォンに充電はできません。

2 電源を選ぶ



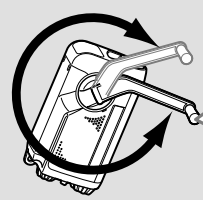
電源切換

内蔵充電電池から充電するとき：
(満充電の内蔵充電電池で充電すると、連続25分(目安)通話できます。)



電源切換

単3形電池(別売)から充電するとき：
(新品のソニー単3形アルカリ乾電池2本で充電すると、連続25分(目安)通話できます。)



手回して充電するとき：
ハンドルを回すと充電が始まります。
内蔵充電電池や単3形電池からの充電中も、ハンドルを回すと手回し充電に切り換わります。(手回し充電ランプは点灯しません。)
(1秒間に2回転以上の速さで回してください。1分充電すると、連続1分(目安)通話できます。回転が遅いと、充電できない場合があります。)

3 携帯電話やスマートフォンと本機をつなぎ、充電する

充電が開始しない場合は
つまみを「FM」または「AM」に切り換えてから「切」に戻し、充電が開始するかご確認ください。
それでも充電が開始しない場合は、電池が消耗していることが考えられます。下記の内容をご確認ください。

- 内蔵充電電池からの充電の場合は、内蔵充電電池を充電してください。
- 単3形電池からの充電の場合は、新品のアルカリ乾電池に交換してください。

① 充電プラグアダプター (付属)の向きを確かめて携帯電話につなぐ

docomo用
SoftBank用
au用

携帯電話

スマートフォン

① スマートフォンに直接つなぐ

USBプラグ

携帯充電(USB)端子

② つなぐ

端子カバーを開ける

マイクロUSBケーブル(付属)
(マイクロUSBプラグ以外のケーブルを使用するスマートフォンの場合は、スマートフォンに付属のUSBケーブルをご使用ください。)

4 充電が終わったら、ケーブルをはずして端子カバーを閉じる

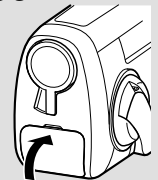
① アダプターやUSBケーブルをはずす

携帯電話

スマートフォン

コネクター部分を
つかんではずす

② 端子カバーを閉じる



主な仕様

受信周波数
FM：76.0 MHz ～ 90.0 MHz AM：530 kHz ～ 1,710 kHz
スピーカー
直径3.6 cm 丸形8 Q1個
入力端子
DC IN 5V (マイクロUSB)端子 1個
出力端子
ヘッドホン端子(φ 3.5 mm ミニジャック) 1個 携帯充電(USB)端子 1個
実用最大出力
60 mW (JEITA*、内蔵充電電池使用時) 90 mW (JEITA*、ソニー単3形アルカリ乾電池(別売)使用時)
電源
DC3V、単3形乾電池 2本 または内蔵のニッケル水素電池
最大外形寸法
約132 mm×79 mm×58 mm (幅×高さ×奥行き) (JEITA*)
質量
本体：約338 g 乾電池使用時：約385 g (単3形電池含む)
付属品
チャージングポーチ (1)、マイクロUSBケーブル (1)、 充電プラグアダプター (1)、非常用の笛 (1)、ハンドストラップ (1)、取扱説明書・保証書 (1)、対応機種一覧表 (1)、安全のために (1)

* JEITA (電子情報技術産業協会)規格による測定値です。
本機の仕様および外観は、改良のため予告なしに変更することがありますが、ご了承ください。
本取扱説明書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

持続時間

周囲の環境や使用状態により、異なる場合があります。携帯電話とスマートフォンの持続時間の値は代表的な機種への測定に基づいた目安です。

電池の持続時間	FM	AM	ライト
手回し充電1分間*1	約50分*2	約75分*2	約15分
内蔵充電電池が満充電のとき	約32時間 (JEITA*3)	約40時間 (JEITA*3)	約20時間
太陽光充電60分間*4	約40分*2	約60分*2	約10分
単3形乾電池*5	約80時間 (JEITA*3)	約100時間 (JEITA*3)	約50時間

ご注意

- 本機を初めて使うときや、長時間使用しなかったとき、電源を入れた状態で放置したときは、充電しても持続時間が短くなる場合があります。この場合は、充電(1分以上)、放電(ラジオやライトを使用する)を繰り返すと通常の状態に戻ります。
- 本機を長期間使わない場合は、内蔵充電電池の劣化を防ぐため、単3形電池を取りはずし、電源切換スイッチを「単3形電池」に切り換えてください。また、1年に1度はUSB ACアダプターを使って満充電することをおすすめします。
- 電池が消耗してくると音が小さくなったり、ひすんだり、同調ランプが暗くなったりします。そのときは内蔵充電電池を充電するか、単3形電池を交換してください。
- お客様による内蔵充電電池の交換はできません。
- 充電してもラジオの使用時間が極端に短くなってきたら、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

携帯電話の持続時間*6	連続待ち受け	連続通話
内蔵充電電池からの充電*7	約50時間	約25分
単3形乾電池からの充電*8	約50時間	約25分
手回し充電1分間*1	約2時間	約1分

スマートフォンの持続時間*6	連続待ち受け	連続通話
内蔵充電電池からの充電*7	約16時間	約25分
単3形乾電池からの充電*8	約16時間	約25分
手回し充電1分間*1	約40分	約1分

*1 1秒間に約2回転の速さでハンドルを回した場合
*2 出力約1 mW時
*3 JEITA (電子情報技術産業協会)規格による測定値です。
*4 屋外で晴天時に充電した場合
*5 ソニー単3形(LR6)アルカリ乾電池(新品) 2本を消耗するまで使用した場合
*6 携帯電話、スマートフォンの機種や使用状況によって、持続時間は異なります。
*7 内蔵充電電池が満充電の状態から残量がなくなるまで携帯電話・スマートフォンを充電した場合
*8 ソニー単3形(LR6)アルカリ乾電池(新品) 2本を使用し、乾電池が消耗するまで携帯電話・スマートフォンを充電した場合(充電が終了するまでの時間は電池の種類や携帯電話、スマートフォンの機種により異なります。)

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときは
この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
お買い上げ店またはソニーの相談窓口(右下)にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

製品登録のおすすめ
ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

◆ パソコン・スマートフォンから
http://www.sony.co.jp/radio-regi/

二次コードで
スマートフォンからアクセス



製品のご登録についてのお問い合わせ
ソニーマーケティング (株)
My Sony Club お客様窓口
電話：フリーダイヤル 0120-735-106
携帯電話：PHS・一部のIP電話 050-3754-9639
受付時間：月～金 9:00 ～ 18:00
土日祝 9:00 ～ 17:00

使用上のご注意

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高い所(60℃以上)や低い所(0℃以下)。
 - 暖房器具の近く。
 - 湿気の多いところ。
 - 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
 - ほこりの多いところ。
 - ブックケースや組み込み式キャビネットのような狭い場所。
- 機器上に、例えば火のついたローソクのような、火災源を置かないでください。
- 内蔵バッテリーは、直射日光、火などの過度な熱にさらさないでください。
- 本体内部に液体や異物を入れないでください。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気に変化して使えなくなることがありますのでご注意ください。
- 耳をあまり刺激しないように、適度の音量でお楽しみください。


防滴性についてのご注意

- このラジオはJIS IPX4相当の防滴仕様です。多少の雨や雪、水しぶきのかかるところでも使える防滴機構になっていますが、次の点に十分ご注意ください。
- 大量に水をかけないでください。
 - 水の中につけないでください。
 - 水がかかったり、水中に落ちた場合は、すぐ引きあげて、乾いた布で水分を拭き取ってください。
 - スピーカー内に水が入った場合は、スピーカーがある面を下にして水を出してください。
 - ヘッドホン端子やUSB端子を使用していないときは、必ず端子カバーを閉めてください。閉めないで防滴効果がなくなります。これらの端子を使用しているときは、端子に水がかからないようにしてください。
 - 本体が水に濡れたあとは、周りのものを濡らさないようにご注意ください。

万一、本製品の使用により生じた携帯電話やスマートフォンのメモリーデータ消失や通話不能等の損害、および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

日本国内での充電式電池の廃棄について



Ni-MH

ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にゼロハントテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCホームページを参照してください。
http://www.jbrc.com/

本機を廃棄するときは

環境保護のため、内蔵充電電池を取り出してください。内蔵充電電池を取り出す前に、電源切換スイッチを「単3形電池」に切り換えてください。

- 本体のパーツを以下の順に取りはずす。
 - 底面のカバー：ねじ2本を取る。
 - スポットライトがある面のパネル：端子カバー内のヘッドホン端子近くのねじ1本を取る。
 - 音量つまみがある面のパネル：3つのつまみを引き抜くようにはずして、音量つまみ部分の下側のねじ1本を取る。
 - 本体上部のソーラーパネルのカバー：背面のアンテナ収納部分のねじ3本を取る。
 - 電池ふたがある面のキャビネット：右端2本、下端2本、電池ふた内右上1本のねじを取ってから、ソーラーパネルの下側2本のねじを取る。
- 基板のねじを取って基板を取りはずし、内蔵充電電池を取り出す。
- 基板のコネクター部を押さえながら、内蔵充電電池を取りはずす。

警告

本機を廃棄するとき以外は絶対にキャビネットを開けないでください。

注意

- 電池と基板をつないだままにしておくと電気が流れて危険です。基板のコネクターから必ずはずしてください。はずすときは、まわりの部品に触れないようにご注意ください。
- 内蔵充電電池は完全に消耗した状態を確認してから取りはずしてください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル …………… 0120-333-020	フリーダイヤル …………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話 …………… 050-3754-9577	携帯電話・PHS・一部のIP電話 …………… 050-3754-9599

※取扱説明書等の購入相談は
こちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。